DCM豊橋曙店

大規模小売店舗立地法指針項目チェックリスト

1 概要

豊橋市曙町地内に「DCM豊橋曙店」を新設する。(法第5条第1項)

2 届出の内容

届出年月日	令和6年7月25日		
店舗	店舗名称	DCM豊橋曙店	
	店舗所在地	愛知県豊橋市曙町字松並101-153の一部	
設置者	名称	DCM株式会社	
	代表者	代表取締役 石黒 靖規	
	住所	東京都品川区南大井六丁目22番7号	
	その他	なし	
小売業者	名称	DCM株式会社	
	代表者	代表取締役 石黒 靖規	
	住所	東京都品川区南大井六丁目22番7号	
	その他	未定	
店舗面積	8,679 m ²		
施設の配置	駐車場	位置	別紙図面のとおり
		台数	422 台 (指針台数: 538 台)
	駐輪場	位置	別紙図面のとおり
		台数	117 台
	荷さばき施設	位置	別紙図面のとおり
		面積	434.5 m ²
廃棄物 保管施設	位置	別紙図面のとおり	
	容量	35.0 m ³	
施設の運営	営業時間	開店	午前7時
		閉店	午後9時
	駐車場利用時間帯	午前6時30分から午後9時30分まで	
	駐車場出入口	数	4箇所
		位置	別紙図面のとおり
荷さばき時間帯	午前6時から午後10時まで		
新設する日	令和7年3月26日		

3 参考事項

敷地面積	30,107 m ²		
建築面積	10,447.00 m ²		
延床面積	10,250.00 m ²		
業態	住・生活関連品専門店		
用途地域	第2種住居地域	—	—
備考	特になし		

DCM豊橋曙店

4 基本的配慮事項

配慮事項	記述事項
(1) まちづくり計画の検討	東三河都市計画曙町松並地区計画内生活利便B地区
(2) 深夜営業の対応	深夜の荷さばき作業及び廃棄物収集作業を実施しない
(3) 住民説明会の開催	地域住民等の理解が十分得られるよう説明・周知
(4) テナントの履行確保	設置者と小売業者が同一のため不要
(5) 責任者の任命	店長を責任者として任命
(6) 予測乖離時の措置	再調査・再対策を検討の上、必要措置を実施
(7) 通年の臨時措置	必要に応じて交通整理員を適宜配置
(8) 開店時の臨時措置	必要に応じて交通整理員を適宜配置

5 施設の配置及び運営方法に関する事項

1 駐車需要の充足・周辺地域の利便確保のための配慮

(1) 交通に係る事項

ア 駐車場の必要台数の確保

(ア) 小売店舗の必要駐車台数

a 指針による算出

行政人口	店舗面積S	日來客数 原単位A (人/千㎡)	ピーク率B	駅からの距離 (商業系地域 の場合)	自動車分担率C	平均乗車 人員D	ピーク1hの 来台車数F <small>S/1000×A×B×C/D</small>	平均駐車 時間係数G	必要駐車台数 F×G
367,347人	8,679.0 m ²	950	14.40%	-	70.00%	2.00人	416台	1.30	538台

※其他地区として算出

総駐車台数	-	従業員等駐車台数	-	業務用駐車台数	-	搬出入用駐車台数	-	併施設設駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
450台		28台		0台		0台		0台		422台	△

b 指針によらない「特別な事情」による算出

大規模小売店舗の必要駐車台数については、大規模小売店舗立地法の指針に算出式が示されているが、ホームセンター等店舗面積に比べて1日に来店する客数が極端に少ない場合等、特別な事情により当該算出式によることが適当でない場合は、既存類似店のデータ等その根拠を明確に示して他の方法で算出することができるとしている。

この考え方を基に計画店舗の必要駐車台数は、ホームセンター(HC)については、既存類似店の駐車場利用実態調査結果より112台に設定した。(※1)

家電及びその他テナントについては、大規模小売店舗立地法の指針より店舗全体からホームセンター(HC)を除いた台数310台を設定した。(※2)

店舗全体の必要駐車台数は422台に設定した。(※3)。

DCM豊橋曙店

計画店舗（ホームセンター）の必要駐車台数の算出
（既存類似店の駐車場利用実態調査結果より）

調査結果参考店舗	尾西店	三好イン ター店	計画店舗 (HC)	
	実測値	実測値	最大値	
S:店舗面積当たりの日來客数原単位	336.5	361.3	361.3	人/千㎡
A:店舗面積	6.061	6.357	4.985	千㎡
B:ピーク率	13.6	12.9	13.6	%
C:自動車分担率	93.0	96.0	96.0	%(台/來客数)
D:平均乗車人員	1.53	1.51	1.51	人
E:平均駐車時間係数	0.32	0.45	0.45	
ピーク時來店台数 (S×A×B×C÷D)	—	—	155	台
必要駐車台数 (S×A×B×C÷D×E)	—	—	70	台

α:年間最多客数による補正率	1.60	1.54	1.60	
年間最大の必要駐車台数 (S×A×B×C÷D×E×α)	—	—	(※1) 112	台

計画店舗（家電及びその他テナント）の必要駐車台数の算出
（大規模小売店舗立地法の指針より店舗全体からホームセンターを除いた台数）

指針値	計画店舗 (全体)	計画店舗 (HC)	計画店舗 (家電及びその 他テナント)	
			指針値 (全体-HC)	
S:店舗面積当たりの日來客数原単位	950.0	950.4	—	人/千㎡
A:店舗面積	8.679	4.985	3.694	千㎡
B:ピーク率	14.4	14.4	—	%
C:自動車分担率	70.0	70.0	—	%(台/來客数)
D:平均乗車人員	2.00	2.00	—	人
E:平均駐車時間係数	1.30	0.96	—	
ピーク時來店台数 (S×A×B×C÷D)	416	239	177	台
必要駐車台数 (S×A×B×C÷D×E)	538	229	(※2) 310 ^{注)}	台

注) 必要駐車台数は整数を表示していますが、実際には小数点以下の数値があり、計算すると310となります。

計画店舗全体の必要駐車台数

必要駐車台数	422 台	(HC:112 台+家電及びその他テナント:310 台)
--------	-------	------------------------------

DCM豊橋曙店

(イ)小売店舗に併設施設を含めた必要駐車台数

a 指針の参考式による算出

併設施設の面積	併設施設の割合 (併設施設面積/店舗面積)	必要駐車台数
957 m ²	11.0%	0台

総駐車台数	従業員等駐車台数	業務用駐車台数	搬出入用駐車台数	=	来客用駐車台数	評価
450台	28台	0台	0台		422台	○

イ 駐車場の位置及び構造等

1平面自走オベレーター:無	2平面自走オベレーター:有	3機械式駐車場	共用駐車場数	ピーク1hの来台車数
1箇所	0箇所	0箇所	0箇所	332台

ウ 駐車場形式・出入口数・位置・駐車待スペース・分散確保・交通整理

平面駐車場	種別	1	収容台数	421台	歩行者動線	分離	騒音配慮	駐車場の平面化	排ガス配慮	アイドリングストップ	評価
	出入口数	道路種別	道路幅員	歩道	交差点距離	駐車待スペース	予測来台車数	道路形態	入出庫方法	整理員	
東	なし	市町村道	16m	あり	-	-	-	双方向	-	-	-
西	なし	市町村道	9m	あり	-	-	-	双方向	-	-	-
南	1箇所	市町村道	14m	あり	82m	-	147	双方向	左折のみ	あり	○
北	3箇所	市町村道	10m	あり	5.3m	-	185	双方向	左折のみ	あり	○
交通整理員等の配置		年間を当して混雑する時期のみ配備									

評価	駐車場法の基準	駐車場出入口の数・位置	駐車待スペース	駐車場の分散確保	出入口における交通整理
○	○	○	○	○	○

エ 周辺交通状況の把握

交通量調査	来客車両等の方向別予測	店舗周辺状況調査	交通流動の予測
実施	実施	実施	実施(交差点需要率等の検討)

(ア)交通需要率の検討

信号交差点	需要率	平日			休日		
		現況	開店後	評価	現況	開店後	評価
地点1 (高師郵便局前 交差点)	需要率	0.296	0.416	○	0.295	0.416	○
	将来交通量/可能交通容量	0.406	0.481	○	0.245	0.485	○
	ピーク時間帯	8時台			10時台		

(イ)信号機のない交差点の検討

地点2	交通容量比	平日		休日	
		開店後	評価	開店後	評価
従道路からの右折 (北流入:退店経路)	交通容量比	0.510	○	0.521	○
ピーク時間帯		17時台		11時台	

地点3	交通容量比	平日		休日	
		開店後	評価	開店後	評価
従道路からの右折 (北流入:来店経路)	交通容量比	0.108	○	0.112	○
従道路からの右折 (西流入:退店経路)	交通容量比	0.315	○	0.327	○
ピーク時間帯		17時台		11時台	

※ 右折での来退店経路を設定しているの信号機のない交差点については、「改訂 平面交差の計画と設計 基礎編」に示されている「一時停止制御交差点の交通容量(HCM2000)」を用いて評価を行った。(米国式の計算方法)

注)交通容量比=実交通量/交通容量

※周辺道路の混雑を回避するための対策等

繁忙期(オープン時及び混雑時)は、駐車場出入口に交通誘導員を配置し、来店車両の安全な誘導を行います。開店後の歩行者の通行状況を確認しながら、必要に応じて交通整理員等の配置など、交通安全の配慮に努めます。

DCM豊橋曙店

オ 駐輪場等の確保等

駐輪場の位置及び箇所数	店舗建物東側に1箇所、敷地南東側に1箇所
駐輪場の収容台数	117台
標準収容台数	248台
収容台数根拠	類似店舗の実績による

位置評価	台数評価
○	○

計画店舗の必要駐輪台数は、ホームセンター（HC）については、既存類似店の駐輪場利用実態調査結果より11台に設定した。（※1）

家電及びその他テナントについては、大規模小売店舗立地法の指針の参考値より店舗全体からホームセンター（HC）を除いた台数106台を設定した。（※2）

店舗全体の必要駐輪台数は117台に設定した。（※3）。

計画店舗（ホームセンター）の必要駐輪台数の算出 （既存類似店の駐輪場利用実態調査結果より）

調査結果参考店舗	尾西店	三好イン ター店	計画店舗 (HC)	
	実測値	実測値	最大値	
S:店舗面積当たりの日來客数原単位	336.5	361.3	361.3	人/千㎡
A:店舗面積	6.061	6.357	4.985	千㎡
B:ピーク率	21.8	20.4	21.8	%
C:自転車分担率	4.0	2.0	4.0	%(台/來客数)
D:平均乗車人員	1.00	1.00	1.00	人
E:平均駐輪時間係数	0.32	0.45	0.45	
必要駐輪台数 (S×A×B×C÷D×E)	—	—	7	台
α:年間最多客数による補正率	1.60	1.54	1.60	
年間最大の必要駐輪台数 (S×A×B×C÷D×E×α)	—	—	(※1) 11	台

計画店舗（家電及びその他テナント）の必要駐輪台数の算出

（大規模小売店舗立地法の指針の参考値より店舗全体からホームセンターを除いた台数）

	計画店舗（全体）	計画店舗（HC）
S:店舗面積	8,679㎡	4,985㎡
必要駐輪場台数算出式	35㎡/台	35㎡/台
必要駐輪場台数	248台	142台
計画店舗（家電及びその他テナント）の必要駐輪台数	(※2) 106台	

計画店舗全体の必要駐輪台数

必要駐輪台数	117台	(HC:11台+家電及びその他テナント:106台)
--------	------	---------------------------

DCM豊橋曙店

カ 自動二輪車の駐車場の確保

自動二輪車駐車場の確保	確保	収容台数	2台
位置及び箇所	敷地北側		

位置評価	台数評価
○	○

キ 荷さばき施設の整備等

(ア) 荷さばき施設の整備

荷さばき施設No.1

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	397㎡	あり	15分	2台	2台	○

荷さばき施設No.2

停車位置	専用出入口・通路	面積	営業時間外の搬入	平均処理時間	同時処理可能台数	ピーク時車両数	処理能力
敷地内	混在	37.5㎡	あり	15分	1台	2台	○

(イ) 計画的な搬入

荷さばき施設No.1

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷さばき待スペース	評価
6:00~7:00 20:00~21:00	2台	平日17:00~ 休日11:00~	20:00~	なし	なし	○

荷さばき施設No.2

搬入ピーク	台数	道路混雑ピーク	道路余裕時間帯	施設運営計画の有無	荷さばき待スペース	評価
未定	2台	平日17:00~ 休日11:00~	20:00~	なし	なし	○

ク 経路の設定等

(ア) 車両関係

a 来客車関係

案内表示の設置	交通整理員の配置	情報提供	生活道路の回避	通学路の回避	療養施設等の回避	右折経路
あり	配置	看板等	回避	回避	回避	あり

b 搬出入車両関係

通学路との交錯	登下校時間の運行	登下校時間の交通整理員
あり	あり	非配備

※非配備の場合等の対応

開店後の学童の通行状況を確認しながら、必要に応じて交通整理員等の配置など、交通安全の配慮に努めます。

c バス・タクシー等交通機関関係

駐車場の確保
バス・タクシー等の停留所なし

d 地方公共団体・公共交通事業者の事業関係

パークアンドライド事業等への協力
事業なし

評価
○

(イ) 歩行者通行関係

通り抜け可能通路の保持	通行妨害施設	閉店後の夜間照明の設置
必要なし	なし	配慮あり

評価
○

(ウ) 廃棄物・リサイクル関係

廃棄物減量化計画	リサイクル活動推進計画
実施	実施

評価
○

(エ) 防災・防犯対策への協力

a 防災への協力

避難場所の提供	物資の緊急提供	その他
締結可能	締結済	

b 防犯への協力

夜間照明の配置	警備員等の巡回	その他
配慮あり	あり	

評価
○

DCM豊橋曙店

2 生活環境悪化防止関係

(1) 騒音発生に係る事項

ア 騒音問題対応策

(ア) 一般的対策

	住居(距離)	高層住居(距離)	騒音発生源	遮音壁(高さ)	緑地帯	その他の対策
東方向	21 m	-	設備機器	なし	なし	-
	38 m	-	車両走行音	なし	なし	-
西方向	28 m	-	設備機器	なし	なし	-
	20 m	-	車両走行音	なし	なし	-
南方向	14 m	-	車両走行音	なし	なし	-
	18 m	-	設備機器	なし	なし	-
北方向	31 m	-	設備機器	なし	なし	-
	11 m	-	車両走行音	なし	なし	-

遮音壁の影響	なし
--------	----

(イ) 営業活動の騒音対策

早朝・深夜荷さばききの有無	なし
荷さばき施設建築計画面での配慮	特になし
荷さばき作業運営面での配慮	搬入作業時及び作業待ち車両のアイドリング禁止、早朝・夜間の荷さばき作業禁止、作業員への騒音抑制意識を徹底
放送設備使用面での配慮	屋外放送なし

(ウ) 付帯設備及び付帯施設等における騒音対策

冷却塔、室外機等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入
給排気口等からの騒音配慮	低騒音型機器の導入、一部対策あり
駐車場からの騒音配慮	周辺道路との段差をなくす。営業時間外は封鎖、アイドリングストップを周知
廃棄物収集作業等に伴う騒音配慮	早朝、深夜の作業回避、回収時間短縮
経年劣化等の事後対策	定期的なメンテナンスを実施

(エ) 併設施設における騒音対策

施設面の騒音配慮	併設施設なし
運営面の騒音配慮	併設施設なし

イ 騒音の予測評価

予測対象騒音	定常騒音	空調室外機	78	冷却塔	-	排気設備	66	変電施設	-	浄化槽	-	ポンプ	-		
		変動騒音	冷凍室外機	-	キュービクル	3									
自動車走行	○		後進警報ブザー	○	台車走行	○	BGM			アナウンス					
ごみ収集作業	○		アイドリング												
衝撃騒音	荷下ろし音	○	台車走行												
建物の構造(高さ)		鉄骨造1階建(建物高さ9.44m、広告塔高さ15.00m)													

DCM豊橋曙店

(ア)等価騒音レベル予測

		北(A1)	北(A2)	東(B)	南(C1)
用途地域		第2種住居地域	第2種住居地域	第1種中高層住居専用地域	第2種中高層住居専用地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	50 dB	50 dB	48 dB	48 dB
	評価	○	○	○	○
設置者	夜間等価騒音レベル	26 dB	16 dB	16 dB	9 dB
	評価	○	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当	妥当

		南(C2)	西(D1)	西(D2)
用途地域		第2種中高層住居専用地域	第1種住居地域	第1種住居地域
昼間基準値		55 dB	55 dB	55 dB
夜間基準値		45 dB	45 dB	45 dB
設置者	昼間等価騒音レベル	54 dB	51 dB	50 dB
	評価	○	○	○
設置者	夜間等価騒音レベル	26 dB	26 dB	19 dB
	評価	○	○	○
県	昼間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	夜間等価騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当

※等価騒音レベルはエネルギー平均により算出するため、小数点1位の表示としているが、環境基準と比較する場合の評価は、「騒音に係る環境基準の評価マニュアル 一般地域 編」(平成27年10月 環境省)に準じて整数の表示とした。

※基準値を超えた場合の対応等

全ての地点で環境基準を下回りますが、周辺住民の皆様より店舗から発生する騒音による苦情等が発生した場合は、誠意をもって対応致します。

(イ)夜間における騒音ごとの予測

A 商工系地域で周囲50m以内に学校、保育所、病院、患者収容施設を有する診療所、図書館、特別養護老人ホームの有無				無
B 工業地域で住居系地域との境界線を50m以内に有するか否か				
上記A・Bの具体的内容				-
		東(b1階)	南(c2階)	西(d2階)
用途地域		第2種住居地域	第2種住居地域	第2種住居地域
基準値を5dB減ずる要因		なし	なし	なし
基準値		40dB	40dB	40dB
設置者	定常騒音の騒音レベル(合成値)	30.1dB	30.7dB	29.1dB
	評価	○	○	○
設置者	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値	-	-	-
	評価	-	-	-
県	定常騒音の騒音レベル検証	妥当	妥当	妥当
	変動騒音と衝撃騒音の騒音レベルの最大値検証	-	-	-

※基準値を超えた場合の対応等

全ての地点で規制基準を下回りますが、周辺住民の皆様より店舗から発生する騒音による苦情等が発生した場合は、誠意をもって対応致します。

DCM豊橋曙店

(2) 廃棄物関係

ア 廃棄物等の保管について

悪臭問題関係配慮	業務上、生ごみはほとんど発生しませんが、廃棄物を袋などで密閉し、悪臭が出ないように配慮します。
衛生問題関係配慮	定期的に廃棄物等の保管施設を清掃します。

(ア) 小売店舗の必要保管容量

a 指針に分類される廃棄物等

廃棄物等の保管施設No.1

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	26.6 m ³	1日	1.268 t	0.10 t/m ³	12.68 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.047 t	0.10 t/m ³	0.47 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.040 t	0.10 t/m ³	0.40 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.125 t	0.01 t/m ³	12.53 m ³	変更なし	○
生ごみ用	3.4 m ³	1日	1.050 t	0.55 t/m ³	1.91 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用		1日	0.420 t	0.38 t/m ³	1.11 m ³	変更なし	○
合計	30.0 m ³	-	-	-	29.10 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	店舗計画に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

廃棄物等の保管施設No.2

取扱品目	届出容量	保管日数	日排出量	見かけ比重	必要保管容量	見かけ比重の変更	評価
紙廃棄物用	5.0 m ³	1日	0.187 t	0.10 t/m ³	1.87 m ³	変更なし	○
金属製廃棄物用		1日	0.006 t	0.10 t/m ³	0.06 m ³	変更なし	○
ガラス製廃棄物用		1日	0.005 t	0.10 t/m ³	0.05 m ³	変更なし	○
プラスチック製廃棄物用		1日	0.018 t	0.01 t/m ³	1.80 m ³	変更なし	○
生ごみ用		1日	0.152 t	0.55 t/m ³	0.28 m ³	変更なし	○
その他可燃性廃棄物用	1日	0.049 t	0.38 t/m ³	0.13 m ³	変更なし	○	
合計	5.0 m ³	-	-	-	4.19 m ³	-	○
保管日数の設定根拠	店舗計画に基づく						
見かけ比重変更の理由	変更なし						
指針と異なる算定式の使用	変更なし						

b その他の廃棄物等

なし

(イ) 小売店舗以外の施設の必要保管容量

併設施設から排出される廃棄物については各施設にて適切に対応します。

(ウ) 小売店舗から排出される廃棄物の増減要因

廃棄物排出量を減少させる要因		廃棄物排出量を増加させる要因	
ダンボール不使用納品の実施	なし	空缶・空き瓶の回収箱設置	あり
生ごみ堆肥化施設の使用	なし	食品トレー・ペットボトルの回収箱設置	なし
廃棄物等圧縮機の使用	なし	食品加工場の設置	なし
脱水装置の使用	なし	物販店以外の施設との保管施設の共有	なし
その他	なし	その他	なし

※その他廃棄物減量化及びリサイクル等に係る取組み

<ul style="list-style-type: none"> ・コピー紙の利用を減らします。 ・コピー紙の裏紙を再利用します。 ・缶、ペットボトル類は納品業者による回収によりリサイクルします。

(エ) 廃棄物保管施設の位置・構造

位置・構造	種類・処理方法ごとの分別の実施	分別廃棄を実施
	搬出作業の利便性の確保	特になし
	搬出作業の騒音・悪臭対策の確保	夜間及び早朝作業は控える
	生ごみ保管施設の温度管理等の実施	生ゴミ排出なし
	生ごみ保管施設の密閉性の確保	生ゴミ排出なし

DCM豊橋曙店

イ 廃棄物等の運搬や処理について

十分な搬送頻度の確保	特になし
繁忙期の特別な措置	搬出回数を増便
運搬(予定)業者(免許番号)	未定
運搬業者・処理業者に対する情報提供	特になし
敷地内処理の配慮	すべて敷地外処理
廃棄物運搬・処理実施要綱等の制定	なし

ウ その他廃棄物関連対応策について

食品加工場等からの悪臭防止対策	食品加工場等なし
併設施設からの悪臭防止対策	特になし

評価
○

(3) 街づくり等への配慮

街並みづくり等への配慮	外観・色彩等	周辺に調和した外観・色彩計画とする
	環境美化活動	従業員等により定期的に店舗敷地等の清掃を行う
市町村等の公的計画への協力	協力要請があれば検討する	
照明等の配慮	夜間の屋外照明は近隣の住居に直接あたらないように配慮する	
敷地内の緑地計画	なし	

評価
○

DCM豊橋曙店

出店地連絡会議の意見概要	対応
1 北側の商業施設の開店時期を確認するとともに、オープン時及び繁忙時の渋滞対策、来退店経路の周知徹底並びに駐車場内及び出入口における適切な車両の誘導について関係機関と十分協議し、必要な対策を実施すること。	1 北側の商業施設のオープン時期について現時点で未定です。また、計画店舗のオープン時期につきましても詳細は未定ですので、引き続き情報交換を行います。また、オープン時及び繁忙時の渋滞対策、駐車場内及び出入口における適切な車両の誘導について、警備会社等が決まりましたら、所轄警察と協議します。 来退店経路の周知徹底につきましては、オープン前のチラシ等で事前に経路を周知します。また、出入口付近に路面標示や看板等を設置します。
2 出入口No.2, No.3 の取り扱いについて、関係機関と十分協議し、必要な対策を実施すること。	2 出入口No.2 及びNo.3 の運用につきまして、東側の小売店舗及び併設施設の詳細が決まりましたら、関係機関と協議します。オープン時は東側の小売店舗及び併設施設が立地していませんので、閉店後、各出入口を封鎖します。
3 防犯カメラの設置等防犯対策について所轄警察署等関係機関と協議し、適切な防犯対策を実施すること。	3 防犯カメラの設置について、準備が整い次第、所轄警察署と協議します。
4 関係法令等に基づく事前協議又は届出等の必要な手続きを行うとともに、光害を含め景観に関する資料を提出されたい。	4 引き続き、関係法令等に基づく事前協議又は届出等の必要な手続きを行います。また、現時点で提出可能な光害及び景観に関する資料を提出します。

市町村の意見概要	対応
意見なし	—

住民等の意見の概要	対応
意見なし	—

県の意見案
意見なし

県の意見に至る考え方
指針配慮事項に対する設置者の対応及び出店地連絡会議の意見に対する設置者の回答は概ね妥当であると考えられる。